

市川市障害者計画 具体的な施策  
重点施策について(令和4年度)

第4次いちかわハートフルプラン 令和4年度進捗状況報告(市川市 障がい者支援課)

第2回 市川市社会福祉審議会	資料1-③-3
令和5年8月18日(金)	

1 災害や感染症の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により市民参加型訓練は中止したが、職員を対象に訓練を実施。</li> <li>○ 避難行動要支援者名簿については、引き続き、名簿未提供自治(町)会に対して制度の周知徹底を図っていく。</li> </ul>
2 障がい者やその家族の高齢化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域生活支援拠点等の整備については、地域生活支援拠点の整備、面的な体制の整備の2つが想定されているが、市川市においては、面的な体制を整備することとしている。</li> <li>○ 市川市では、令和2年度途中から地域生活支援拠点等コーディネーターを設置。緊急時の施設利用の支援を中心として事業を実施している。</li> <li>○ 地域生活支援拠点等に求められる機能のうち、「体験の機会・場」の機能について、地域移行支援や共同生活援助に加えてさらにもどのような事業が必要となるか、検討を進めている。</li> </ul>
3 障がいに対する理解の促進、合理的配慮の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者基本法に定める障害者週間の趣旨をふまえ、毎年、「I♥あいフェスタ」を開催。令和4年度は特設Webページを公開したほか、第1庁舎ファンクションルームにてI♥1グランプリの作品展示や「障がいを支えるテクノロジー」をテーマに意思伝達装置や義肢の体験・展示を行った。</li> <li>○ 福祉の店は、第1庁舎のほか、イオン市川妙典店、大柏出張所での販売を開始。</li> <li>○ 障がいに関する理解の促進のためには、市職員の知識、意識の充実も重要。職員に対する研修、新規採用職員に対する研修を今後も実施していく。</li> </ul>
4 支援人材の確保と質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市川市自立支援協議会の各部会を中心として、障害福祉サービス事業者等の職員に向けた研修を令和4年度も実施。</li> <li>○ コロナ禍を受け顔の見える関係が希薄になっていた傾向がある。引き続き、今後も質の向上に向けた取組を実施していく。</li> </ul>
5 相談支援・権利擁護体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者の総合相談支援機関である基幹相談支援センターの役割は重要であり、相談と対応は年々増加するとともに複雑化・多様化している。</li> <li>○ 令和3年度、令和4年度に引き続き、基幹相談支援センターをはじめとする相談・支援機能の拡充に向け、施策を推進していく。また、地域生活支援拠点等の機能や、庁内関係各課や関係機関との役割分担や協力体制を整理していく。</li> </ul>
6 地域における生活の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者の地域における生活の選択肢の一つとして、グループホームは重要。特に重度の障がい者等向けのグループホームの整備が求められている。</li> <li>○ 今後も本市ではグループホームの開設にあたっての補助、運営にあたっての補助を継続していくとともに、必要な施策を検討していく。</li> </ul>